



DocuLaboのご紹介

2008年5月12日

株式会社グローバルテクノ

株式会社メディアフュージョン



Copyright © 2008 MEDIA FUSION Co., Ltd. All rights reserved.

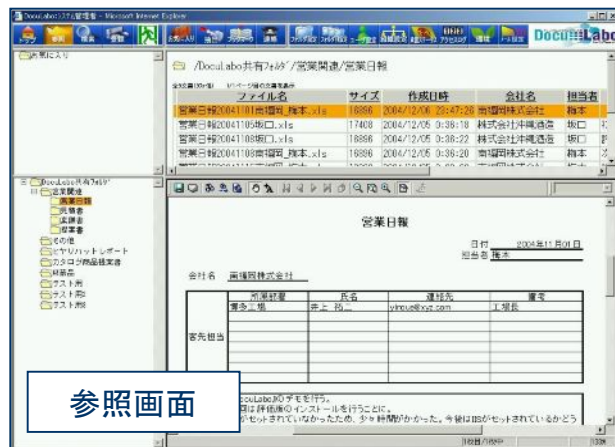
概要 DocuLaboは「文書管理システム」+「Excelデータベース」

● 文書管理システム

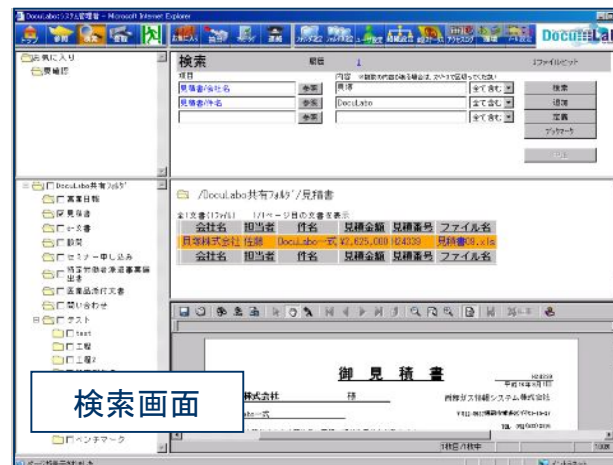
- プレビュー、チェックアウト・チェックイン、版管理、ワークフローなどの機能を備えた文書管理システム。

● Excelをユーザインターフェースにした簡易データベース

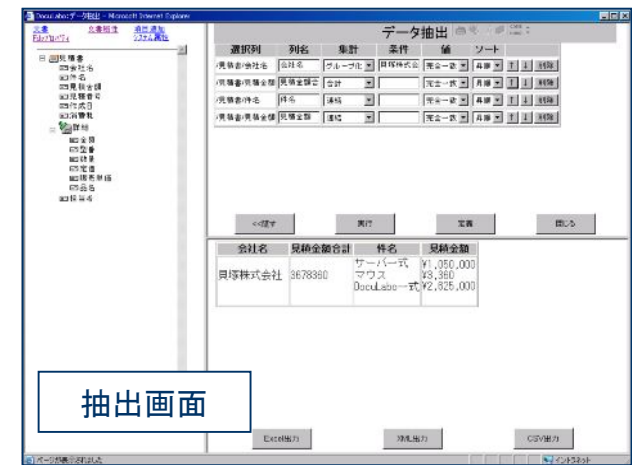
- 登録されたExcelファイル内の情報を項目別に抽出しデータベース管理。
- Excelファイル内の情報を項目別に検索することが可能。
- Excelファイル内の情報に対する集計、およびそれらの情報をExcel・CSV・XML形式でデータ出力することが可能。



参照画面



検索画面



抽出画面

代表事例のご紹介 大量データのExcel管理に最適

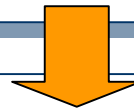
● 某不動産企業様 …不動産物件に関する情報の収集、管理

導入前の状況

- 各プロパティマネジメント会社から送られてくるレポート(様々な形式のExcelファイル)を管理。
 - Excelファイルの数は約40ファイル(=管理物件数)。
- レポートから、必要なときに必要な情報を参照し、物件分析、予実管理。
 - 物件分析資料、予実表の作成頻度は週1回～月1回。1回の作成に1日かかる。
- レポートから、必要なときに必要な情報を取得、流用して、新たにレポートを作成。
 - レポートの作成頻度は週1回～月1回。1回の作成に1日かかる。

導入効果

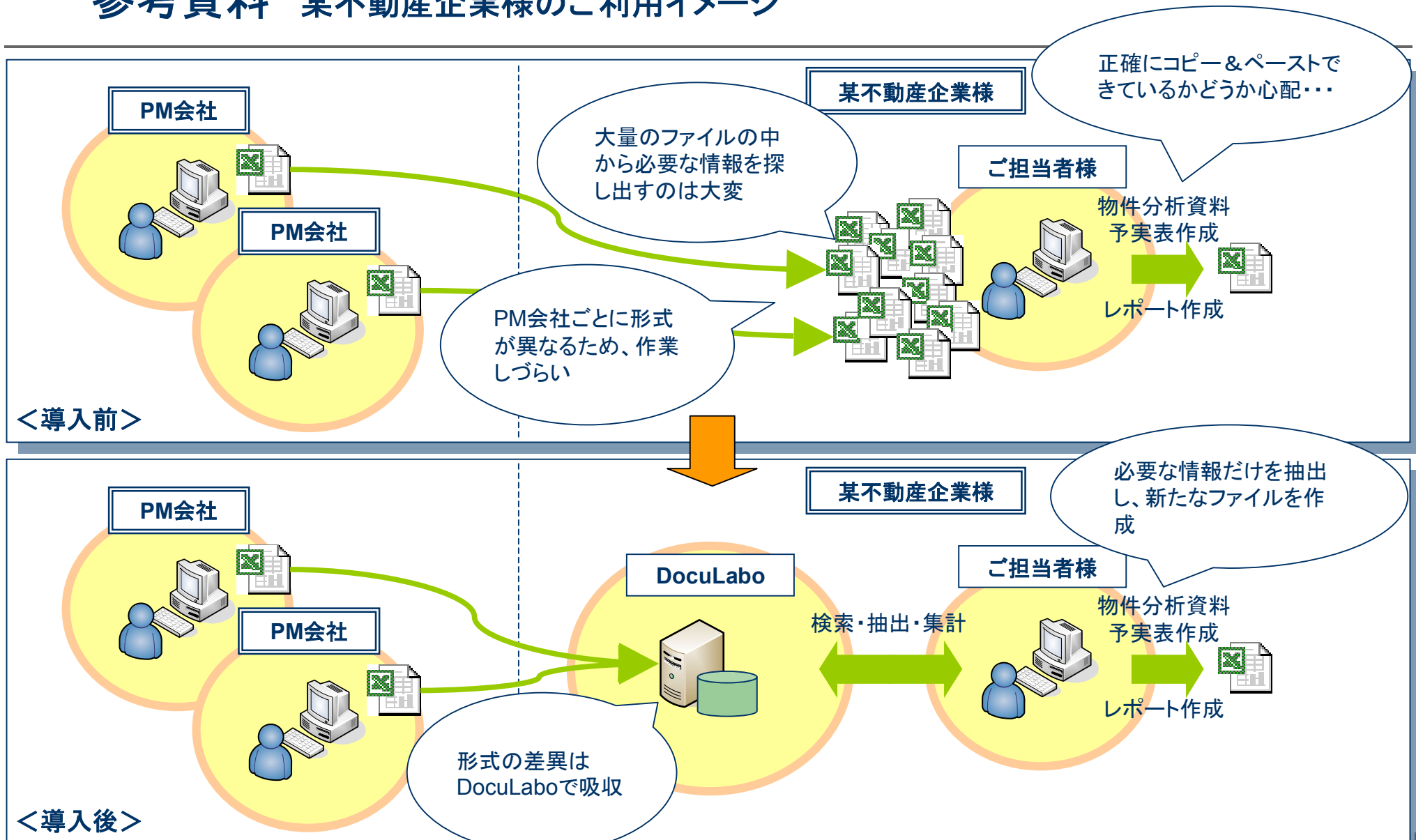
- 業務フローも従来通りで、使い慣れたExcelをそのまま使用でき、業務効率を向上。
 - 予実表の作成時間は1回1時間以内に激減。レポートの作成時間は1回1時間以内に激減。
 - 転記ミス、漏れもゼロに。



DocuLaboはこんなケースに最適です

- Excelで大量のデータを管理しているものの...
- ファイルを手手で検索、集計、再利用しているため効率が悪い。 →業務効率、精度を上げたい
- Excelの利便性は損ないたくない。 →Excelを使い続けたい

参考資料 某不動産企業様のご利用イメージ



メリット・競合比較

- 既存文書の中から必要な情報を素早く探し出すことができる

- × ファイルサーバ

- フォルダ名、ファイル名などであたりをつけ、ファイルを開いてみて確認する必要あり。

- △ 他の文書管理システム

- フォルダ名、ファイル名、キーワード、全文検索などであたりをつけ、ファイルを開いてみて確認する必要あり。

- DocuLabo

- フォルダ名、ファイル名、キーワード、全文検索だけでなく、**ファイル内を項目別に検索し、必要な情報を特定。**
- プレビューで中身の確認も可能。

- 既存文書内の情報を流用して、新たな文書を作成できる

- 慣れ親しんだExcelをそのまま使い続けられる

- △ Office2007

- Excel内の情報を流用しやすいようXML形式で出力可能だが、出力したXMLファイルを再利用するためのシステムが別途必要。過去バージョンのファイルとの互換性の問題も。

- DocuLabo

- **DocuLaboに登録しておくだけで、Excel内の情報を項目別に検索、抽出、集計、出力可能。バージョンも問わない。**
- **必要な項目だけを、適切な項目名を付加して、検索、再利用できる。**